

令和２年度碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会次第

日時 令和２年７月３１日（金）

午前１０時３０分から正午まで

場所 碧南市役所２階 談話室２・３

１ あいさつ

２ 議題

（１）令和元年度事業報告及び収支決算について

（２）令和２年度事業計画及び収支予算について

（３）その他

碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会委員

	区分	選出団体名等	氏名	役職名
1	市職員	碧南市副市長	金沢 宏治	委員長
2	学識経験を有する者 (市長が必要と認める者)	東海税理士会刈谷支部副支部長	伴野 義雄	
3		日本福祉大学教授	青木 聖久	
4	各種団体を代表する者 (市民の代表)	碧南市民生委員児童委員協議会代表	鳥居 隆幸	
5		N P O法人ゆるりん理事長	磯貝 厚子	
6	一般公募 (市民の代表)		坂部 泰	
7	市職員	碧南市経営企画課長	生田 和重	

任期：令和２年７月１日から令和５年６月３０日まで

事務局等

1	事務局	福祉こども部長	杉浦 秀司
2		福祉課長	杉浦 浩二
3		福祉課社会福祉係長	河原 睦
4		福祉課社会福祉係主事	澤田 直也
5	碧南ふれあい作業所	碧南ふれあい作業所所長	竹内 涼
6		社会福祉法人WH J 本部事務長	熊本 直孝

令和元年度 碧南ふれあい作業所 事業報告書

1. 施設概要

施設種別	生活介護事業（通所）
事業所番号	2 3 1 3 2 0 0 0 2 0
所在地	碧南市中山町1丁目16番地1
事業開始日	平成8年7月1日
障がい種別	特定なし
定員	60名
開所日/時間	月曜日～金曜日 9:00～16:00

2. 登録市町村

碧南市

3. 契約者の状況(令和2年3月31日現在)

総契約者数	67名	碧南市＝67名
-------	-----	---------

契約者の推移

常用 利用者	平成22年 4月1日時点 の契約者	平成27年 4月1日時点 の契約者	平成31年 4月1日時点 の契約者	平成31年4月から 令和2年3月まで の新規契約者	同退所者及び 期限切れ 契約解除者	令和2年 3月31日 現在
	62名	68名	67名	1名	1名	67名

新規契約者時期

令和 元年度 3月＝1名

退所者時期

令和 元年度 12月＝1名

4. 職員数（令和2年3月現在）

正職＝10名、非常勤＝15名 合計25名

5. 月間利用実績 生活介護（定員 60 名） 職員体制（5：1）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	H30年度
開所日数(日)	21	21	20	22	20	20	23	21	21	19	19	21	248	243
利用者数(人)	1308	1289	1240	1360	1122	1182	1347	1248	1231	1136	1127	1274	14864	15210
1日平均(人)	62.3	61.3	62.0	61.8	56.1	59.1	58.6	59.4	58.6	59.8	59.3	60.6	59.9	62.6
利用率(%)	104	102	103	103	93.5	98.5	98	99	98	99	98	101	99.8	104
前年比(%)	100	97.3	99.0	96.3	89.0	97.5	89.9	92.5	93.3	102.1	96.1	96.2	95.8	

月間利用実績 日中一時支援 成人プログラム（定員 70 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	H30年度
開所日数(日)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	11
利用者数(人)	60	58	49	32	46	56	49	38	47	50	52	51	588	561
利用率(%)	86	83	70	46	66	80	70	54	67	71	74	73	70	73

月間利用実績 日中一時支援 児童プログラム（定員 10 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	H30年度
開所日数(日)	8	9	8	13	11	7	8	7	7	7	8	9	102	109
利用者数(人)	12	12	13	17	14	11	13	12	8	12	12	11	147	200

活動内容

【自主製品部門】

（紙すき）

常連のお客様からの注文、納品先からの注文共に多くの注文を頂いており、注文分を作成する事に追われてしまい、新商品の開発が出来なかった。

（名 刺）

1 年を通して定期的に注文があり忙しかった。振り込み支払いのお客様の代金の未収がないように確認が必要。

（その他）

- ・身体の不調を訴える方が増えている。（足・眼・歯・内臓等）状況に応じて事業所から病院へ受診している。
- ・A さん：8 月のお盆休みから来所出来ていない方がいる。きっかけがはっきりせず、職員が定期的に自宅へ訪問し話を聞いている。
- ・B さん：2 月に透析の必要性から左腕にシャントを作った方がいる。しかし、血栓が出来て詰まってしまい機能していない状態。
- ・C さん：1 1 月に肺炎と腸閉塞で入院された方が亡くなった。

【下請け部門】

(ロート)

工場の機械化により 8 月末で作業が終了した。

(軍 手)

量が多い時、少ない時はあるが順調に納品できている。電動の圧縮する結束機械が 2 台に増え効率的に作業が行えている。

(ゴムキャップ取り付け)

ロート作業終了に伴い、新規の作業として金属パーツにゴムキャップをはめる作業を取り組み始めた。最初は戸惑う方もいたが、すぐに慣れ順調に行えている。

(その他)

- ・ D さん：1 2 月に右手の親指に雑菌が入り、緊急入院・手術を行った。親指が少し短くなったが日常生活に支障は出ていない。
- ・ E さん：1 2 月後半より家庭環境の変化により法人が借りているアパートで一人暮らしを始めた方がいる。食事等の支援を行ったり、ヘルパーを利用しながら生活をされている。

【ぼかし部門】

7 月 8 月にカビが発生し廃棄処分したり、9 月に虫が発生して処分した物もあったが、契約した個数は出来ている。

作業の効率が上がったことで今まで行ったことのなかったスタッフも体験に行く事ができるようになってきた。今後は職員が 2 名行ける時は今まで行った事のない方も参加できるように進めて行きたい。

【農園部門】

(各公園の花の植え替え)

こまめに草取りや補植を行い、綺麗に咲いている。

(花の販売)

花の販売は通年でみると少し売り上げは落ちている。

(花の育成状況)

急な気候の変化により、上手に育たなかったものもあった。

(その他)

夏の酷暑の時期の作業の在り方の検討が必要。植え替え等のスケジュールを計画的に考え取り組んでいく。

スプリンクラーの不具合があったため、市で修繕を行った。現在は順調に使用できている。

- ・ F さん：農園のビニールハウスで転倒して顔を強打し歯が折れてしまった方が

いた。すぐに歯科受診を行い、治療して現在は完治している。

【療育部門】

牛乳パックのちぎり・めくりの作業や季節に合った工作やお菓子作りなどを行っている。他の班と合同で過ごす機会も作り交流している。

・Gさん：3月に父親が亡くなってしまった方がいたが、不安定になる様子もなく過ごせている。

【厨房部門】

作業所とアルゴスタッフ3～4名で毎食器・お茶の準備、調理、盛り付け、食器洗浄、掃除等を行っている。

ケガに十分注意し、包丁で切りやすいように職員が下準備し徐々に上手に作業できるようになってきた。アルゴ職員と話し合いをし、共通支援を行えるようにしている。

【屋内外活動】

(リズム体操)

ボランティアの方に来て頂き、希望者に音楽などを通して体を動かしてもらい体力作りを行っている。楽しんで参加される方が増えてきた。

(車いす体操)

ボランティアの方に来て頂き、車いすの方を中心に体を動かしたり、マッサージをしてリハビリを行った。整体の先生も来所され、皆の姿勢なども見てくれた。

(創作活動)

季節にちなんだ行事を行うようにしている。バレンタインデー、ホワイトデーには、お菓子作りをしたり、お花見へ行って皆楽しんでいた。ハロウィンの工作やお菓子作りも定着している。

(カウンセリング)

毎週木曜日に行っている。利用者の方の悩みや相談などを聞き、精神的な安定を図っている。先生と話せる事を楽しみにされている利用者が多くいた。

(マッサージ)

毎週火・木にマッサージの先生に来ていただき、希望者のみマッサージを行ってもらう。一人の利用者さんには、原則週一回のマッサージ。心身ともにリフレッシュしていた。

(音楽療法)

月に一回行う。普段あまり動かない利用者も、音楽に合わせて歌って踊って体を動かしている。参加される利用者は楽しみにしていた。

(高齢者プログラム)

高齢の利用者の方を中心に体操やマッサージを毎月一回行っている。プログラムに参加する利用者が定着してきているため、今後は本人の現状の身体機能を数値化して比較できるようにしていく。

(理学療法)

必要に応じて契約している利用者の支援方法のアドバイスをもらっている。嚥下機能の低下がみられる方について姿勢保持や具体的な方法を教えてもらった。

【生活面】

(スタッフ会議)

月1回、今後のイベントや作業所の事について、利用者からの意見などを聞いたり話し合ったりする場を設けている。意見を言える方が増えてきている。

6. その他碧南ふれあい作業所における活動

【地区全体行事】 新通所者歓迎式&お花見、新成人を祝う会、合同避難訓練

【事業所行事】

4月	創作活動（イチゴ大福作り）
5月	創作活動（牛乳寒天作り）、
6月	創作活動（手形・野菜スタンプ）
7月	流しそうめん大会、元気ッス！へきなん
8月	バーベキュー大会、創作活動（作品展に出す作品作り）
9月	創作活動（クッキー作り）、女性宿泊会
10月	社会見学（生命の海科学館）、男性宿泊会 創作活動（ハロウィン）
11月	創作活動（たません作り）、ふれあいまつり、
12月	きらきらウォーク、クリスマス会&忘年会 餅つき大会、大掃除
1月	創作活動（おしるこ作り）、
2月	創作活動（バレンタインデーのお菓子作り）、
3月	創作活動（ホワイトデーのお菓子を作ろう）

【健康面】 健康診断、歯科検診、人間ドック、インフルエンザ予防接種

【外部交流】 植木市出店、トヨタ織機フェスタ出店、大浜てらまちウォーク出店、新川公民館まつり出店、西端公民館祭り出店、日進公民館祭り出店、新川久沓線の清掃作業、元気ッス碧南出店、新川まちか

どサロン出店、ふれあい支援センター実習受け入れ、安城特別支援学校実習生受け入れ、安城特別支援学校親子施設見学受け入れ、碧南高等学校初任者研修受け入れ、心身障がい児者を守る会のボランティアの受け入れ、高浜高校実習の受け入れ、慈恵福祉保育専門学校実習の受け入れ、碧南市立南中学校職場体験受け入れ

【日中一時支援 成人】

毎月第3土曜日に行い、碧南市在住の施設内外の方に利用して頂いている。スタッフが楽しめること、色々な体験ができるように企画を進めている。企画内容もスタッフの意見等を取り入れるようにしている。

企画内容・	4月ぎょぎょランド	5月サンドウィッチ作り
	6月焼肉パーティー	7月ぶどう狩り
	8月ジャンボエビフライ	9月トリックアート
10月	パン作り（デンパーク）	11月ふれあいフェスティバル
12月	カラオケ	1月ボーリング
2月	大福作り	3月お好み焼き作り

【日中一時支援 児童】

公園へ遊びに行ったり、作業所ですごしたりしている。新規の方ではなくいつも同じ方が利用されている。卒業後を見据えて利用している方もいる。

7. 令和元年度の特徴

建物の老朽化が進む中で、7月に1階作業室のエアコンが故障し自主製品班は9月末まで3階ホールにて作業を行う事となった。また、3月には2階廊下と3階会議室のエアコンも故障してしまった。福祉課とも協議し市で修繕を行った。

利用者の高齢化による体調面での変化（老化）も顕著に表れてきている。職員の知識・技術に対しての更なるスキルアップが求められる。

1月以降新型コロナウイルスへの法人・事業所としての対応を検討しているが、未だかつて経験した事のない事態のため、常にアンテナを張り情報収集を行い状況に応じて適切に対応していく必要がある。

8. 事業計画に対する評価

①指定管理

碧南市へ事業計画・事業報告を行い、指定管理者審査委員会の資料作成や委員会での説明を行った。車両保険について、令和2年度から事業所として

加入して欲しいとの要請があったため予算に組み込むようにした。

②研修・勉強会

新人研修や法人全体研修はもちろんであるが、他事業所にも声をかけながら事業所独自の勉強会を随時開催して職員スキルアップに努めた。

③修繕・入替

老朽化によるエアコンの故障が1階作業室・2階廊下・3階会議室で発生した。碧南市との協定もあり市予算での修繕が行えたが、修繕が完了するまでは活動場所を変更したりしながら利用者の方に過ごしてもらった。

④非常食・防災用品

非常食の在庫の確認を行い、今年度分の購入を行った。毎年度一定量を購入する事で年度毎の費用を均等にしていく。

⑤高齢プログラム

今年度はプログラムの定着を目的に取り組みを行い、対象利用者もプログラムを行う事への納得は出来てきている。プログラム自体が利用者全体を対象とはしていないため、全体の職員がこの事についての理解をしている訳ではないので、職員全体への周知が必要。

9. 今後の課題

①指定管理

新型コロナウイルスの影響もあり休業等の対応について市とも常に連携をとりながら情報収集に努めていく。また、令和2年度より三期目の指定管理期間が開始するため、指定管理期間内の早い段階で期間終了後の協議を行っていく。

②研修・勉強会

令和2年度はほとんどの外部研修が延期・中止になる可能性が高いため事業所単位での研修・勉強会の回数を増やし、職員のスキルアップに繋げていく。また、事業所で開催する研修についてはリモートを活用しながら地区の事業所にも声かけをして多くの職員が参加出来るようにしていきたい。

③修繕・入替

大規模修繕が必要な設備がまだ多いため、碧南市と協議しながら計画的に

進めていきたい。

④非常食・防災用品

非常食については3日分の備蓄はあるが、充分とは言えず5日以上以上の備蓄ができるようにしていきたい。毎年度、継続的に購入する事により単年度での費用を均等にしていく。

新型コロナウイルスの影響でマスクや手袋が不足する事態になってしまう事が見受けられたため、事態が収束したら防災用として備蓄を増やしていく必要がある。

⑤高齢プログラム

プログラムの定着は出来てきているため、現在の利用者本人がどの程度の身体機能を有しているかなどを数値化していき今後の比較検討する資料を作成していく。プログラムなども一部の職員だけが知っているのではなく、全職員に周知した上で本人が自主的に取り組んで頂けるようにしていきたい。

10. 職員研修

サービスの質の向上と現状の福祉情勢を学ぶ目的で愛知県や知的障害者福祉協会が主催する研修に積極的に参加している。また、研修に参加する事でモチベーションアップに繋がっている。課題としては、受けた研修の事業所へのフィードバックが不十分であると感じている。

令和元年度 参加職員研修一覧

実施月	内容	開催場所	参加職員
5月	栄養士研修会	衣浦東部保健所	栄養士
6月	新規採用者研修	名古屋国際会議場	新規採用職員
6～8月	介護福祉士実務者研修	ふれあい作業所・JJひまわり	法人内希望者13名
7月	アンガーマネジメント研修	雁宿ホール	法人全職員
8月	強度行動障害の方への対応研修	ふれあい作業所	法人職員
9月	困難事例対応研修	刈谷市産業振興センター	管理者
10月	栄養士研修会	刈谷市産業振興センター	栄養士
11月	地震シミュレーション研修	ふれあい作業所	法人職員
12月	日中活動支援部会全国大会	京王プラザホテル札幌	管理者
12月	法人全体研修(法人理念について)	衣浦グランドホテル	法人全職員
12月	愛知県知的障害関係施設職員等研究大会	名古屋クラウンホテル	生活支援員
1月	社会福祉法人向け監査研修会	名古屋クロスタワー	管理者
1月	高齢知的障害者への支援に関する研修	ウィンクあいち	管理者

2 月	栄養士研修会	刈谷市産業振興センター	栄養士
-----	--------	-------------	-----

11. 資格取得

職員の資質向上と利用者の満足度を高めるため、法人として積極的に資格取得を推進している。

令和元年度 資格取得一覧

取得資格	人数
介護福祉士実務者研修	2 名

令和1年度 碧南ふれあい作業所 決算について

収入の部

科目	令和1年度予算額	収入済額	差額	備考
事業活動による収入				
障害福祉サービス等事業	113,950,000	114,795,284	-845,284	
（自立支援給付費）	105,500,000	106,299,204	-799,204	
（利用者給食費）	3,850,000	3,762,000	88,000	1食あたり250円
（その他の事業）	4,600,000	4,734,080	-134,080	指定管理料(¥350,000)、日中一時支援等
職員給食費、研修受入費等	1,600,000	1,525,683	74,317	1食あたり300円
その他の事業	6,200,000	7,482,499	-1,282,499	生産活動売上
受取利息配当金	10,000	2,443	7,557	
施設整備等による収入				
施設整備等補助金	0	0	0	
設備資金借入金	0	0	0	
その他の活動による収入				
積立資金取崩	6,000,000	0	6,000,000	
拠点区分間長期借入金	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
収入合計	127,760,000	123,805,909	3,954,091	

支出の部

科目	令和1年度予算額	支出済額		備考
事業活動による支出				
人件費支出	92,850,000	87,464,973	5,385,027	
（常勤職員給与）	52,800,000	49,885,917	2,914,083	
（非常勤職員給与）	26,500,000	25,728,997	771,003	
（法定福利費）	12,000,000	10,390,759	1,609,241	社会保険料負担分
（退職共済掛金）	1,550,000	1,459,300	90,700	
事務費支出	10,715,000	8,218,175	2,496,825	
（福利厚生費）	350,000	319,280	30,720	
（事務消耗品費）	1,150,000	306,770	843,230	
（修繕費）	750,000	83,049	666,951	車輛修繕等
（業務委託費）	3,600,000	3,484,443	115,557	アルゴ委託費等
（保険料）	1,400,000	709,437	690,563	
（賃借料）	700,000	747,061	-47,061	ワゴン車、食洗機等リース代等
（租税公課）	160,000	136,800	23,200	消費税
（保守料）	1,400,000	1,371,507	28,493	エレベーター、消防・電気点検等
（雑支出・その他）	1,205,000	1,059,828	145,172	旅費、冠婚葬祭、非常食代等
事業費支出	23,195,000	20,497,137	2,697,863	
（給食費）	5,500,000	5,379,796	120,204	給食材料費
（本人支給金）	6,150,000	5,759,953	390,047	利用者工賃
（水道光熱費）	4,850,000	4,061,296	788,704	電気・ガス・水道代
（消耗器具備品費）	200,000	173,770	26,230	
（教育指導費）	1,800,000	1,701,110	98,890	花苗・自主製品材料代等
（車輛費）	3,000,000	1,933,985	1,066,015	
（教養娯楽費）	220,000	195,794	24,206	行事準備代、新聞代等
（雑支出・その他）	1,475,000	1,291,433	183,567	利用者検診代、日用品代等
減価償却費		55,236		
（減価償却費）		55,236		
施設整備等による支出				
固定資産取得支出	0	0	0	
（構築物取得）	0	0	0	
（機械及び装置取得）	0	0	0	
（車輛運搬具取得）	0	0	0	
（器具及び備品取得）	0	0	0	
（建設仮勘定への計上による資金減少額）	0	0	0	
その他の活動による支出				
積立資産支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	本部繰入金
雑損失	0	0	0	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
支出合計	127,760,000	116,235,521	11,524,479	
収支差額	0	7,570,388	-7,570,388	繰越金

前期末支払資金残高	0	54,293,479	-54,293,479	
当期末支払資金残高	0	61,863,867	-61,863,867	前期残高＋当期繰越金

令和 2 年度 碧南ふれあい作業所 事業計画書

社会福祉法人ダブルエッチジェー

1 概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 事業所名 | 碧南ふれあい作業所 |
| (2) 設置者 | 碧南市 |
| 設置根拠 | 碧南ふれあい作業所の設置及び管理に関する条例
碧南ふれあい作業所の管理に関する規則 |
| (3) 経営主体 | 社会福祉法人ダブルエッチジェー |
| (4) 施設の種別 | 指定生活介護 |
| (5) 事業の内容 | <p>利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴・排泄及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の便宜を適切かつ効果的に下記の内容を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">① 生活介護計画の作成② 食事の提供③ 身体等の介護④ 生産活動⑤ 創作的活動及び地域生活支援⑥ 身体機能及び日常生活動作の機能維持・回復支援⑦ 生活相談⑧ 健康管理⑨ 一定期間利用がなかった場合に当該利用者の居宅を訪問して行う相談援助⑩ 送迎サービス |
| (6) 所在地 | 愛知県碧南市中山町 1 丁目 1 6 番地 1 |

(7) 敷地面積 1, 694. 7 m²

(8) 業務時間 8 : 30 ~ 17 : 30

(9) 施設規模

建物規模

延床面積 1, 244 m² (鉄筋コンクリート造3階建)

施設内容

作業室 (2室)、多目的ホール、食堂、医務室、相談室、更衣室

事務室、会議室、エレベーター、運動場

※消防設備を含む施設管理は業者に委託

ふれあい農園

所在地 愛知県碧南市尾城町1丁目25番地

面積 1, 102. 81 m²

2 職員体制

(常：常勤、常兼：常勤兼務、非：非常勤)

管理者	サービス管理 責任者	嘱託医	支援員	栄養士 兼事務	看護職員	調理員	合計
1名 (常兼1)	2名 (常1・常兼1)	1名 (非1)	16名 (常5、非11)	1名 (常1)	3名 (非3)	1名 (非1)	24名 (常8、非16)

(カウンセラー1名、音楽療法士1名は含まず)

3 利用者処遇

(1) 利用状況 定員60名 (現契約者数67名)

(2) 開所時間 9 : 00 ~ 16 : 00 (7時間)

(3) 支援会議

ア. 個別支援検討会議を開催

イ. 必要に応じてケース会議を開催

ウ. 毎朝夕、支援ミーティングを実施

エ. 毎週、職員会議を実施

(4) 生活支援

【目的：本人の生活や生き甲斐などに重点を置いたプログラムの再編成を行う】

- ア. 排泄、着替えの補助、挨拶等の励行を日常生活の中で支援していく
- イ. 隔月の避難訓練の実施、消火訓練を年2回、通報訓練を年1回実施
- ウ. 事故防止のため、利用者のバイタルチェック又は家庭での状況を把握
- エ. 毎週カウンセリングを実施し、利用者の精神的な安定を図る
- オ. 接骨院によるマッサージを実施し、筋力の麻痺・拘縮を予防する
- カ. 毎日のプログラムの中に掃除の時間を取り入れ職員・利用者で施設の清掃を行う
- キ. 音楽療法を通して、利用者の表現力を養ったりストレスの発散を促す
- ク. 高齢プログラムを実施して介護予防に取り組んでいく

(5) 社会的活動の支援

行事予定

時 期	内 容	場 所
4 月	新通所者歓迎式&お花見	あいくる
6 月	交通安全教室	明石公園
7 月	流しそうめん大会	ふれあい作業所
7 月	ふれあいキャンペーン	ふれあい作業所
8 月	元気ッス！へきなん	碧南市役所前
8 月	バーベキュー大会	ふれあい作業所
9 月	合同地震津波避難訓練	ふれあい作業所
10 月	社会見学	未 定
10 月	男性・女性宿泊会	ふれあい福祉園ガイア
11 月	ふれあいまつり	ふれあい作業所
11 月	市民ふれあいフェスティバル	臨海体育館
12 月	クリスマス&忘年会	ふれあい作業所
12 月	きらきらウォーク	芸術文化ホール周辺
12 月	もちつき大会	ふれあい作業所
1 月	新成人を祝う会	あいくる
2 月	創作活動（バレンタインチョコ作り）	ふれあい作業所

3月	創作活動（ホワイトデーお菓子作り）	ふれあい作業所
----	-------------------	---------

定期予定

- ア．リズム体操、車椅子体操を毎月実施
- イ．創作活動を毎月実施
- ウ．スタッフ（利用者）の意見や要望等を反映させるため、毎月1回全スタッフ職員参加のスタッフ会議の開催

（6）健康管理

- ア．嘱託医師による診察（内科検診）及び体重測定を毎月実施
- イ．定期健康診断を年2回実施、その結果及び嘱託医師の意見に基づき要精密検査者の保護者に受診の支援
- ウ．昼食後の歯磨き支援、職員による口腔衛生指導を実施

（7）その他

- ア．保護者に対してガイダンスを実施し、制度改正等の説明会実施
- イ．各学校、団体からの実習・見学及びボランティア等の受け入れ

4 給食

- （1）ふれあい福祉園ガイア、ふれあい工房アルゴと連携して昼食を提供していく。
- （2）嗜好調査を実施
- （3）食事形態の変化に対する対応について、共通した支援が出来るように支援会議を通して周知徹底出来るようにしていく。

5 その他の活動

- （1）公共交通機関等を利用する機会を作り、小グループ単位にて行動して、社会参加する機会の提供を行う。
- （2）地域と密接な関係を築き、ボランティア活動・清掃活動等に積極的に参加し、地域に親しまれる事業所として活動していく。
- （3）アルミ缶・スチール缶・牛乳パック等を回収し、リサイクル事業（回収品を回収事業者に売却）を展開し環境エコに貢献すると共に本人支給金の増加を目指す。

6 職員研修計画

職員の資質向上を目的とし、各種研修に積極的に参加する。

令和２年度職員研修計画

実施予定月	内 容	開催場所	参加職員
4 月	法人内新人研修	法人内各施設	新規採用職員
5 月	栄養士研修	衣浦東部保健所	栄養士
6 月	新規採用者研修	名古屋市総合社会福祉会館	新規採用職員
8 月	法人全体研修（権利擁護）	未定	全職員
10 月	全国知的障害福祉関係職員研究大会	京都府	生活支援員
11 月	全国日中活動支援部会研修会	秋田県	管理者 生活支援員
12 月	法人全体研修（虐待）	衣浦グランドホテル	全職員
1 月	法人内研修	法人内各施設	対象職員

※上記以外でも研修案内等を確認して積極的に参加するように取り組む。

7 令和２年度の取り組みについて

・生活介護（定員６０名）

昨年度の個別支援計画の目標達成率が全体で７１．３％だったため、今年度の計画としては８０％を達成できるようにしていく。日々の支援の中で個別支援計画を意識する事はもちろんだが、前提として現在の本人の状態に合った計画が出来ているかどうかサービス管理責任者並びに担当職員がしっかりと把握する事が重要になってくる。

高齢プログラムについては定着する事が出来たため、本人の今の身体機能がどの程度なのかを数値化して今後比較が出来るように整備していく。

地域交流の面では管理会社を通して明石公園のホールを使用して利用者の作品展や普段の活動を展示した写真展を開催していきたい。明石公園へ遊びに来た来客者などに活動を「知ってもらふ」きっかけ作りにしていく事を目的とする。これはふれあい作業所単独で行うよりも他事業所を巻き込みながら考えていきたい。

また、過去の審査委員会で課題として挙げられた内容などをしっかり意識して取り組んでいく。

- ・ 日中一時支援事業（70名）

参加人数が毎回50名～60名と多人数になっており、ふれあい作業所の利用者ではない外部の利用者の方も増えている。また、それに伴い職員もふれあい作業所以外の事業所職員が応援に来る事も多くなっている。普段接点のない利用者への支援を行うため、事前にアセスメントを適切に行い職員間で共有する事により服薬ミスなどがないようにしていく。

令和2年度 碧南ふれあい作業所 予算について

収入の部

科目	令和2年度当初予算額	平成31年度当初予算額	差額	備考
事業活動による収入				
障害福祉サービス等事業	117,605,000	115,550,000	2,055,000	
（自立支援給付費）	107,650,000	105,500,000	2,150,000	
（利用者給食費）	3,830,000	3,850,000	-20,000	1食あたり250円
（職員給食費等）	1,525,000	1,600,000	-75,000	1食あたり300円
（その他の事業）	4,600,000	4,600,000	0	指定管理料(¥1,000,000)、日中一時支援等
その他の事業	6,500,000	6,200,000	300,000	生産活動売上
受取利息配当金	5,000	10,000	-5,000	
施設整備等による収入				
施設整備等補助金	0	0	0	
設備資金借入金	0	0	0	
その他の活動による収入				
積立資金取崩	0	6,000,000	-6,000,000	
拠点区分間長期借入金	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
収入合計	124,110,000	127,760,000	-3,650,000	

支出の部

科目	令和2年度当初予算額	平成31年度当初予算額	差額	備考
事業活動による支出				
人件費支出	90,650,000	92,850,000	-2,200,000	
（常勤職員給与）	51,000,000	52,800,000	-1,800,000	
（非常勤職員給与）	27,000,000	26,500,000	500,000	
（法定福利費）	11,000,000	12,000,000	-1,000,000	社会保険料負担分
（退職共済掛金）	1,650,000	1,550,000	100,000	
事務費支出	10,455,000	10,715,000	-260,000	
（福利厚生費）	400,000	350,000	50,000	
（事務消耗品費）	800,000	1,150,000	-350,000	
（修繕費）	750,000	750,000	0	車輛修繕等
（業務委託費）	3,600,000	3,600,000	0	アルゴ委託費等
（保険料）	1,150,000	1,215,000	-65,000	
（賃借料）	800,000	700,000	100,000	
（租税公課）	160,000	160,000	0	消費税
（保守料）	1,400,000	1,400,000	0	
（雑支出・その他）	1,395,000	1,390,000	5,000	
事業費支出	22,005,000	23,195,000	-1,190,000	
（給食費）	5,500,000	5,500,000	0	給食材料費
（本人支給金）	6,200,000	6,150,000	50,000	利用者工賃
（水道光熱費）	4,200,000	4,850,000	-650,000	電気・ガス・水道代
（消耗器具備品費）	300,000	200,000	100,000	
（教育指導費）	1,600,000	1,800,000	-200,000	
（車輛費）	2,550,000	3,000,000	-450,000	
（教養娯楽費）	250,000	220,000	30,000	
（雑支出・その他）	1,405,000	1,475,000	-70,000	
施設整備等による支出				
固定資産取得支出	0	0	0	
（構築物取得）	0	0	0	
（機械及び装置取得）	0	0	0	
（車輛運搬具取得）	0	0	0	
（建設仮勘定への計上による資金減少額）	0	0	0	
その他の活動による支出				
積立資産支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	本部繰入金
予備費による支出				
予備費支出	1,000,000	1,000,000	0	
支出合計	124,110,000	127,760,000	-3,650,000	
収支差額	0	0	0	

碧南ふれあい作業所 事業所紹介

作業について

ふれあい作業所では、①自主製品班②下請班③農園班④ステップ班の4つの班にわかれて毎日活動を行っています。作業主体の班としては、自主製品班・農園班・下請班と3つの班があり、それぞれの作業をスケジュールに沿って行っています。作業が一段落した時などを利用して、各班ごとに外出活動やお菓子作りなどを企画して皆で楽しみ、次の作業への活力にしています。また、ステップ班は日々の生活の充実に焦点を当てて活動を行っており、作業と遊びのメリハリをつけながら本人のやる気を引き出す支援をしています。班の移動に関しては、半年に1回の本人・家族との面談などの中で希望を聞いたり、職員から提案したりしながら本人に決めてもらっています。

基本は各班ごとに活動していますが、創作活動や行事では各班の垣根を越えて利用者が交流するため、普段接点のない人同士が関われる良い機会だと考えています。

【自主製品班】所属人数 27名

活動内容 紙すき製品、名刺印刷、アクリル製品 等

●特徴●

自主製品班は、紙すきの作業を中心に葉書や封筒などを作り販売しています。嬉しいことにふれあい作業所の紙すきは大変評判が良く、東京や大阪など全国から注文を頂いています。手作りで作成しているため注文を受けてから出来上がるまでに時間がかかりお客様を待たせてしまうこともあるため、生産量を増やすことが今後の課題だと考えています。

また、名刺やポスターなどの印刷業務やアクリルたわしなどの編み物なども行っています。

【下請班】 所属人数 21名

活動内容 自動車部品の加工、手袋の成型・袋詰め、EMぼかし等

●特徴●

下請班は、地域の工場などの部品等を加工したり、手袋の成型作業などを中心に行っています。下請業務という性質上、どうしても社会情勢に左右されやすいのですが、元請け業者の方の協力もあり継続的な作業が出来ています。

また、納品後など作業が少ない時は、作業所内の草取りなどの清掃活動や販売用にビーズアクセサリを作成したり、調理実習でお菓子作りなどを行い楽しんでもらっています。

【農園班】 所属人数 15名
活動内容 花苗栽培、市内花壇植替え、アルミ缶リサイクル 等

●特徴●

農園班は、花苗を種から栽培して販売したり、市内の公園や公的機関などの花壇の管理や植え替えなどを行っています。また、外での活動が中心のため、利用者の健康管理に十分に配慮しながら活動しています。

特に真夏の炎天下での作業や真冬の凍るような寒さの中での作業は利用者一人一人の体調を確認しながら、こまめに水分補給や休憩をとるように心がけています。最近では花以外にも野菜の苗を栽培したりして新しい取り組みもを行っています。

【ステップ班】 所属人数 4名
活動内容 工作、外出、各班の作業補助 等

●特徴●

ステップ班は、平成24年にふれあい作業所が生活介護事業になった際に、まだ毎日作業に取り組むことが難しい方に集まってもらい新しく出来た班になります。活動としては、散歩に出かけたり工作を行ったり職員が工夫をしながら楽しく過ごしています。療育的な活動が中心ですが、作業の時間も設けてメリハリをつけながら過ごして頂いています。

スタッフ会議について

毎月1回、利用者と職員が集まりふれあい作業所の事を話し合う会議を開いています。昔は自分の意見を言う事が苦手だった利用者が積極的に手を挙げて意見を言ってくれるようになってきました。この会議を行う事によって、利用者の方たちが「自分たちの意見が施設に反映されている」という意識がでて、良い施設作りに繋がるのではないかと考えています。

話し合う内容としては、新通所者歓迎式や新成人を祝う会の役割分担や社会見学の見学先、掃除の場所決めなど多岐に渡っており、職員だけでは思いつかないようなアイデアなどが生まれることもあります。

厨房について

当法人の就労系事業所「ふれあい工房アルゴ」とも連携をとりながらお互いの利用者・職員が厨房に入り昼食を作成しています。厨房も作業場の一つとしてとらえ、午前中は盛りつけや配膳などを行い、午後からは食器洗いや次の日の仕込みなどを行っています。作業所の利用者も少しずつ厨房に入れる人が増えています。厨房に入るという事で衛生面には十分に気を付けており、手洗いや白衣・帽子・マスク着用は当然ですが、爪の長さまで確認して清潔保持を徹底しています。